

れんけいしゅう!

地域医療支援病院
 広島県指定がん診療連携拠点病院
 災害拠点病院
 広島DMAT指定病院
 日本医療機能評価機構認定病院



TOPICS

- ◆「大腸の外科診療について」 外科 医長 村尾直樹
- ◆「泌尿器科新任医師のご紹介」
- ◆「令和5年度 呉共済病院 地域医療連携懇談会～人生会議の普及・啓発～」 地域医療連携室 課長 小出典孝
- ◆「地域医療連携室NEWS」

病院の理念

高度・良質の医療 最善の奉仕
 研鑽と協調 地域医療の支援

基本方針

- 一 良質で適切な医療の提供に努めます
- 二 患者さんの権利を尊重し 患者さんの満足・安心・信頼を追求します
- 三 新しい知識と技術を積極的に習得し 常に質の高い先進的医療を行います
- 四 地域の中核病院として地域社会の要請に応える医療を提供します
- 五 職員が意欲をもって働ける病院をめざします
- 六 次代を担う有能な医療従事者の育成をめざします
- 七 専門的ながん医療の提供に努めます
- 八 国内での医療救護活動に積極的に参加します

呉共済病院キャッチコピー

まもりたい、
 あなたの明日と
 地域の医療。



呉共済病院は、県指定のがん診療連携拠点病院です。がん検診などでがんの疑いがあると診断された患者さんの精密検査や治療を行っています。是非ご紹介ください。

地域医療連携室 NEWS

	2023年4月	2023年5月	2023年度累計
紹介患者数《初再診全て》	1012	947	1959
逆紹介患者数	960	921	1881
紹介率	70.3%	70.0%	70.2%

大腸の外科診療について

外科 医長 村尾 直樹

当院外科は地域の急性期医療を担う病院として腹部救急疾患の診療を、またがん診療連携拠点病院として様々な消化器のがん診療を行っております。
今回はその中でも大腸外科についてご紹介いたします。

大腸がんは罹患数が男女とも2位、死亡数は男性が2位、女性は1位となっています。近年大腸がんの治療は化学療法が大きく進歩し、治療戦略が重要となってきています。当院では大腸外科を専門に行う外科医を定め治療に注力しています。

手術治療では腹腔鏡手術を取り入れており、創の大きさだけではなく、手術後の回復が早く、合併症が軽減されるなど様々な利点から積極的に行うようにしています。また、一定の割合で生じる大きな合併症に「縫合不全」がありますが、当院では様々な手技の工夫に加え、術中に腸管の血流を調べる蛍光造影検査を取り入れ合併症軽減に努めています。チーム医療にも積極的に取り組んでおり、消化器内科や病理診断科と治療方針について検討するカンサーボードを毎週実施しています。手術前後には栄養・リハビリ・口腔ケアチームと連携して様々な状況の患者さんの入院治療が安全に行えるよう連携しています。

近年、大腸がんの化学療法ではRASに加え、BRAFやHER2、MSIなどの遺伝子異常を解析することで、それぞれの患者さんにより適切な薬剤を選択することができるようになっています。RAS以外の変異は合わせると10%程度と考えられており、積極的に検査を行い治療選択につなげています。抗がん剤治療には様々な副作用も生じてきますが、病棟薬剤師や各診療科とも連携して必要な治療を継続できるような体制を整えています。

大腸がん、大腸の救急疾患では人工肛門（ストマ）造設が避けて通れない場面があります。患者さんには大きな負担となりますが、皮膚・排泄ケア認定看護師（WOCN）を中心に、病棟看護師・外科医師を含め皆で人工肛門の管理について協力しています。

潰瘍性大腸炎やクローン病を中心に炎症性腸疾患が近年増加しています。薬剤治療・手術治療の選択には専門的な判断が必要とされますが、当院では内科・外科で連携して専門的な診療を行っています。

クローン病は再発しやすいため、将来再手術が必要になる可能性を考え、癒着が起こりにくいと言われる腹腔鏡手術を積極的に取り入れています。

呉共済病院外科は市民のための病院として様々な疾患に対応できる体制を整えています。大腸疾患においても地域の皆様の健康に役立てるよう、今後も引き続き尽力して参ります。

外科 外来担当表

	月	火	水	木	金
1診	田原 浩	布袋 裕士	中島 亨	坂部 龍太郎	栗田 亜希
2診	坂部 龍太郎	中島 亨	栗田 亜希 瀬尾 信吾	田原 浩	布袋 裕士
3診	重松 英朗 (乳腺センター)	村尾 直樹	網岡 愛 (乳腺センター)	村尾 直樹	

泌尿器科 新任医師のご紹介

6月採用の新任医師をご紹介します。
よろしくお願いいたします。

あんどう えいいち
安東 栄一 医師



- ◆診療科 泌尿器科
- ◆免許取得年 H12年
- ◆専門・得意分野 泌尿器科全般
尿路感染症
女性泌尿器科
- ◆資格等 日本泌尿器科学会専門医・指導医
泌尿器腹腔鏡専門医
da Vinci certificate取得

専門分野は尿路感染症・女性泌尿器科です。女性泌尿器科は聞きなれないかもしれませんが、尿失禁・排尿障害などに対して薬物療法、手術療法を行います。対応に困るようでしたら、一度ご相談ください。

泌尿器科 外来担当表

	月	火	水	木	金
1 診	安東 栄一	手術日	安東 栄一	安東 栄一	安東 栄一
2 診	小倉 一真	手術日	小倉 一真		小倉 一真

令和5年度 呉共済病院 地域医療連携懇談会 ～人生会議の普及・啓発～

地域医療連携室
課長 小出典孝 (MSW)

6月22日に地域医療連携懇談会を開催いたしました。

新型コロナウイルス感染症の影響により4年ぶりに呉阪急ホテルでの開催となった地域医療連携懇談会ですが、今回は『人生会議 (ACP) 』をテーマとしました。

当院におきましては、人生会議の普及啓発のため、映画『ぼけますからよろしくお願ひします。』の信友直子監督にご協力いただき、信友監督とお父様が実際に人生会議を行う様子を撮影した『信友直子監督とお父さん 人生会議やってみた』をYouTubeで配信しております。また、呉市においても人生会議の普及啓発のため、人生を振り返り、今の暮らしを見つめ、未来の暮らしを考えるためのツールとして『人生の彩ノート』を作成する他、市政だよりでの広報や市民公開講座を開催するなど、積極的な取り組みを展開しています。

そこで今回の地域医療連携懇談会では『人生会議 (ACP) 』をテーマにし、呉市高齢者支援課 北恵 尚子 専門員と呉市在宅医療・介護連携推進コーディネーターの齋藤 愛さんに「呉市の人生会議に対する取り組みについて」と題してご発表頂くとともに、先程紹介した動画『信友直子監督とお父さん 人生会議やってみた』の上映を行いました。北恵専門員からは、呉市の高齢化率等のデータやニーズ調査の結果をご報告いただき、齋藤さんからは呉市の『人生の彩ノート』と広島県地対協が発行する人生会議の手引き『私の心づもり』の使い方などを示していただきました。『信友直子監督とお父さん 人生会議やってみた』の動画については「医師がACPについて考えるきっかけになったと思う」、「在宅医療も含めた高齢者医療の必要性があると思う」、「家族や患者さんにACPというものがあることを知らせることが大切だと思った」といったご意見を頂戴しました。講演会の後には、参加された先生方と当院の医師の意見交換会を行い、久しぶりにたくさんの先生方が一堂に会する機会となり、盛況のうちに開催を終えることができました。

呉共済病院は「まもりたい、あなたの明日と地域の医療。」をキャッチコピーとしており、全ての職員が患者さんに寄り添った医療サービスを提供できるよう心がけています。今後も呉共済病院との連携についてよろしくお願い申し上げます。



 YouTube
呉共済病院公式チャンネル

